

NY マーケットレポート (2014 年 8 月 28 日)

NY 市場では、序盤に発表された第 2 四半期の米 GDP 改定値が+4.2%となり、市場予想の 3.9%や速報値の 4.0%を上回る伸びとなったことを受けて、ドルは主要通貨に対して上昇する動きとなった。しかし、上昇は一時的となり、その後はウクライナの大統領が安全保障会議を緊急招集したことや、株価が軟調な動きとなったことを受けて、ドル円・クロス円は上値の重い動きとなった。午後に入ると取引材料に乏しく、終盤まで小動きの展開が続いた。

2014/ 8/28 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	103.76	103.93	103.71
EUR/JPY	136.96	137.17	136.88
GBP/JPY	172.13	172.28	172.05
AUD/JPY	97.08	97.24	96.86
EUR/USD	1.3202	1.3218	1.3188

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	103.79	103.56
EUR/JPY	137.10	136.42
GBP/JPY	172.30	171.69
AUD/JPY	97.25	96.78
EUR/USD	1.3219	1.3171

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	15459.86	-74.96
ハンセン指数	24741.00	-177.75
上海総合	2195.82	-13.65
韓国総合指数	2075.76	+0.83
豪ASX200	5624.41	-26.77
インドSENSEX指数	26638.11	+77.96
シンガポールST指数	3330.22	-11.24

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6805.80	-24.86
仏CAC40	4366.04	-29.22
独DAX	9462.56	-107.15
ST欧州600	341.05	-2.28
西IBEX35指数	10722.20	-115.20
伊FTSE MIB指数	20341.09	-422.05
南ア 全株指数	51133.13	-477.29

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	103.72	103.89	103.66
EUR/JPY	136.71	136.87	136.51
GBP/JPY	172.05	172.27	171.92
AUD/JPY	97.04	97.20	96.95
NZD/JPY	86.96	87.06	86.84
EUR/USD	1.3182	1.3187	1.3159
AUD/USD	0.9356	0.9364	0.9345

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17079.57	-42.44
S&P500	1996.74	-3.38
NASDAQ	4557.70	-11.93
その他主要株	終値	前日比
カナ トロント総合	15558.17	-44.48
ブラ ボルサ指数	45501.28	-99.72
メキシコ ボベスパ指数	60290.87	-659.70

8/28 経済指標スケジュール

08:05	【英】8月GfK消費者信頼感調査
08:30	【日】7月消費者物価指数
08:30	【日】7月家計調査消費支出
08:30	【日】7月失業率・7月有効求人倍率
08:50	【日】7月鉱工業生産
08:50	【日】7月大型小売店販売・7月小売業販売額
13:00	【日】7月自動車生産
13:00	【日】7月建設工事受注・7月住宅着工戸数
15:00	【英】8月ネーションワイド住宅価格
15:00	【独】7月小売売上高指数
15:45	【仏】7月生産者物価指数
18:00	【欧】8月消費者物価指数
18:00	【欧】7月失業率
21:00	【南ア】7月財政収支・7月貿易収支
21:30	【米】7月個人所得・7月個人支出
21:30	【米】7月PCEデフレーター
21:30	【カナダ】6月GDP(前月比)
21:30	【カナダ】7月原料価格指数・7月鉱工業製品価格
22:00	【米】8月ミルウォーキー購買部協会景気指数
22:45	【米】8月シカゴ購買部協会景気指数
22:55	【米】8月ミシガン大学消費者信頼感指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1290.40	+7.00
NY 原油	94.55	+0.67
CME コーン	369.25	+4.25
CBOT 大豆	1028.75	+5.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.50%	0.51%
3年債	0.94%	0.95%
5年債	1.63%	1.64%
7年債	2.02%	2.04%
10年債	2.34%	2.36%
30年債	3.08%	3.10%

8/29 主要会議・講演・その他予定

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 103.77 ユーロ/円 136.74 ユーロ/ドル 1.3178

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6801.90	-28.76	ダウ INDEX FUTURE	17044	-49
仏 CAC40	4364.85	-30.41	S&P500 FUTURE	1991.10	-6.00
独 DAX	9446.64	-123.07	NASDAQ FUTURE	4062.75	-10.00

(出所: SBILM)

21:00

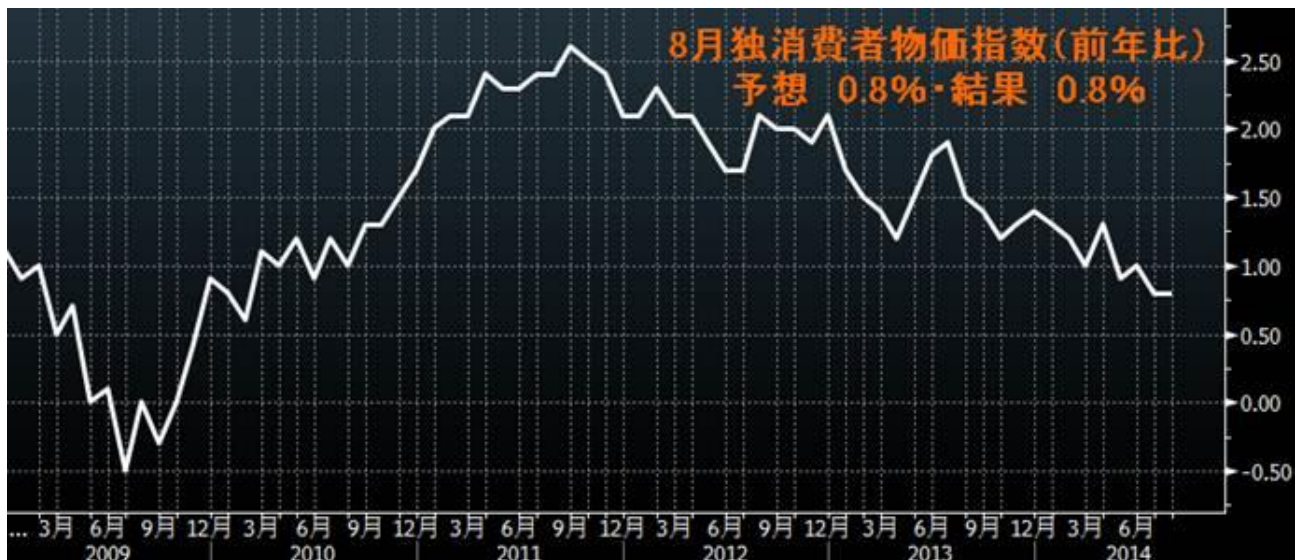
◀ 経済指標の結果 ▶

8月独消費者物価指数(前月比) 0.0%(予想 0.0%・前回 0.3%)

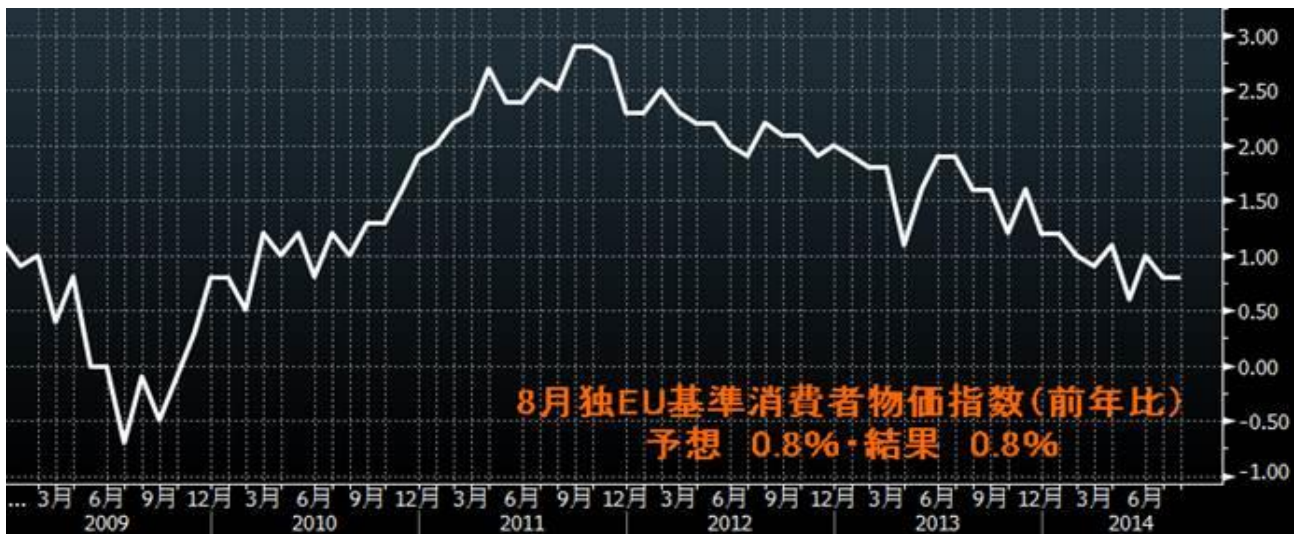
8月独消費者物価指数(前年比) 0.8%(予想 0.8%・前回 0.8%)

8月独 EU 基準消費者物価指数(前月比) 0.0%(予想 0.0%・前回 0.3%)

8月独 EU 基準消費者物価指数(前年比) 0.8%(予想 0.8%・前回 0.8%)



(出所: ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

21:30

＜ 経済指標の結果 ＞

新規失業保険申請件数 29.8 万件 (予想 30.0 万件・前回 29.9 万件)

前回発表の 29.8 万件から 29.9 万件に修正

失業保険継続受給者数 252.7 万人 (予想 251.5 万人・前回 250.2 万人)

前回発表の 250.0 万人から 250.2 万人に修正



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

申請件数・前週比・4週移動平均・受給者数・受給者比率

14/08/23	298,000	-1,000	299,750	*****	*****
14/08/16	299,000	-13,000	301,000	2,527,000	1.9%
14/08/09	312,000	+22,000	296,000	2,502,000	1.9%
14/08/02	290,000	-13,000	293,750	2,549,000	1.9%
14/07/26	303,000	+24,000	297,500	2,519,000	1.9%
14/07/19	279,000	-24,000	300,750	2,542,000	1.9%
14/07/12	303,000	-2,000	309,250	2,508,000	1.9%
14/07/05	305,000	-11,000	312,000	2,508,000	1.9%
14/06/28	316,000	+3,000	315,250	2,586,000	2.0%
14/06/21	313,000	-1,000	314,500	2,575,000	2.0%
14/06/14	314,000	-4,000	312,250	2,568,000	2.0%
14/06/07	318,000	+5,000	315,500	2,559,000	1.9%

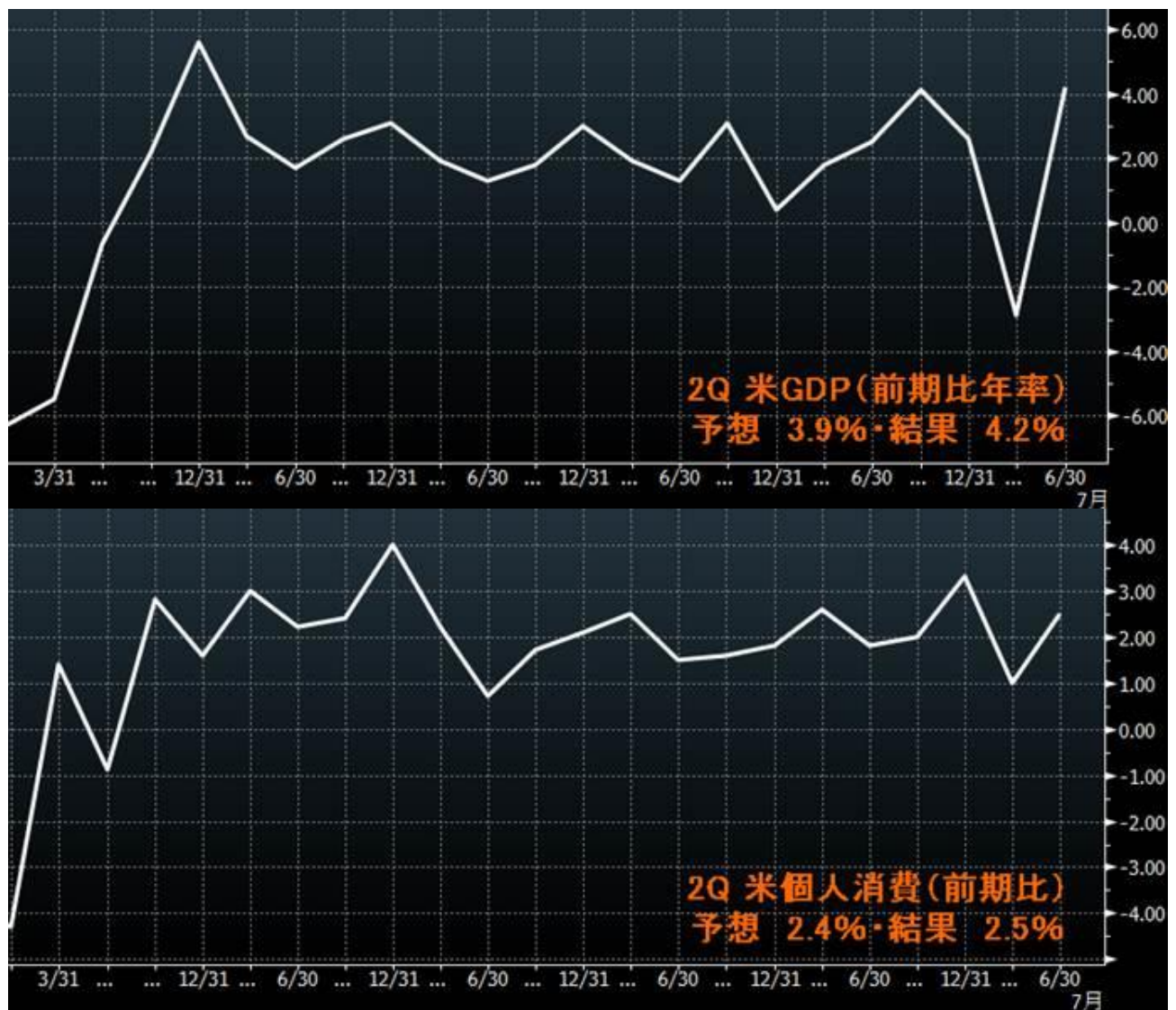
受給者数は集計が1週間遅れる

21:30

《経済指標の結果》

2Q 米 GDP (前期比年率) 4.2% (予想 3.9%・前回 4.0%)

2Q 米個人消費 (前期比) 2.5% (予想 2.4%・前回 2.5%)



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 外国為替市場 序盤 》

序盤の外国為替市場は、アジア主要市場の株価下落を受けて投資家がリスクを避ける姿勢を強め、比較的安全な通貨とされる円を買う動きが先行した。その後、4-6 月期の米 GDP 改定値が市場予想を上回ったため、米経済の先行き期待感からドルを買う動きも見られた。

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17057.99	-64.02
ナスダック	4552.25	-17.38

(出所:SBILM)

23 : 00

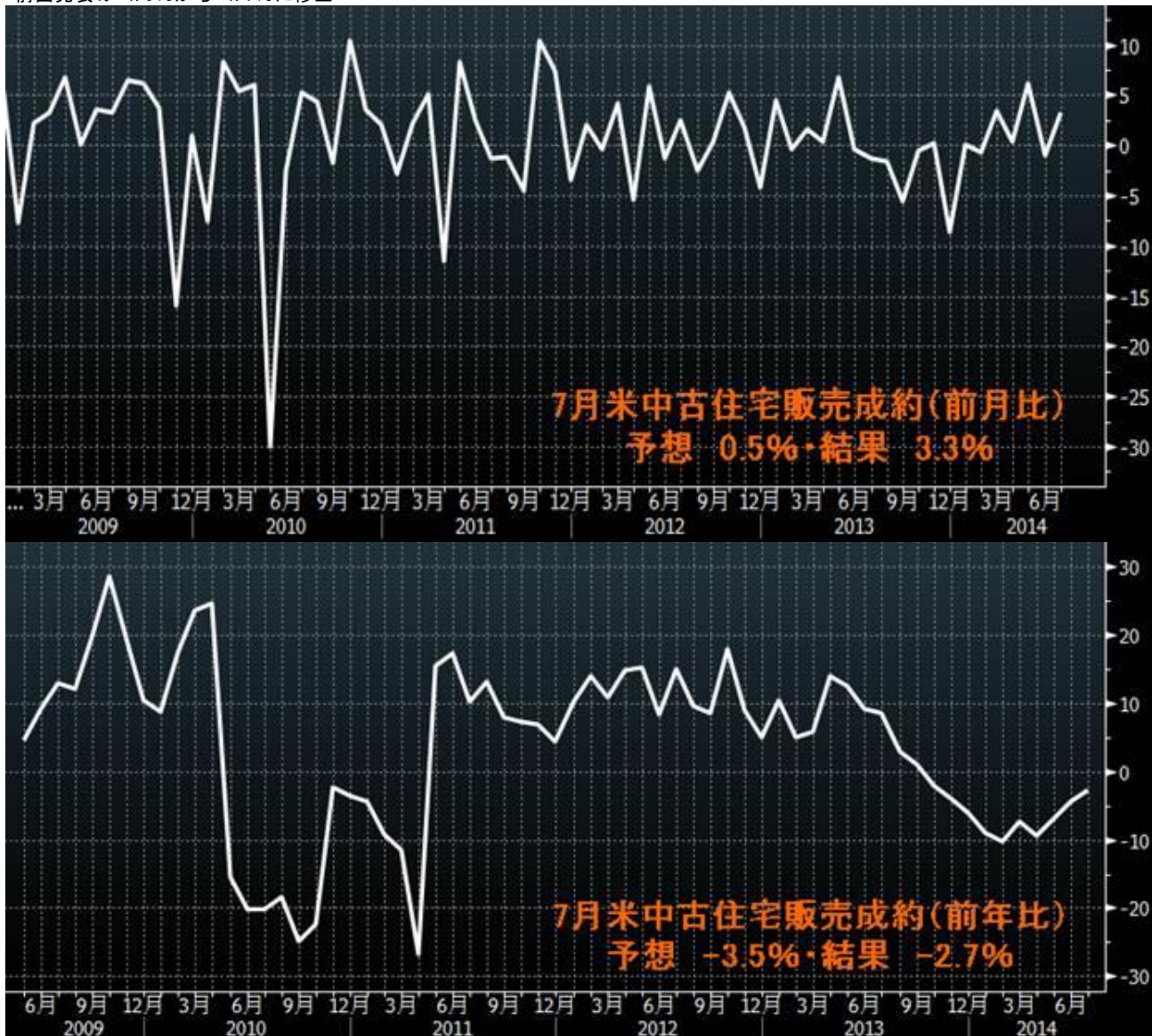
《 経済指標の結果 》

7 月米中古住宅販売成約 (前月比) 3.3% (予想 0.5%・前回 -1.3%)

前回発表の-1.1%から-1.3%に修正

7 月米中古住宅販売成約 (前年比) -2.7% (予想 -3.5%・前回 -4.7%)

前回発表の-4.5%から-4.7%に修正



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《中古住宅販売成約》

	7月	6月	5月	4月	3月	2月
全米	3.3	-1.3	6.0	0.5	3.4	-0.5
北東部	6.2	-2.7	8.8	0.6	1.4	-1.6
中西部	-0.4	-0.4	6.3	5.0	-0.8	2.8
南部	4.2	-2.1	4.0	-0.4	5.6	-3.6
西部	4.0	0.2	7.7	-2.5	5.7	2.3

(前月比%)

	7月	6月	5月	4月	3月	2月
全米	-2.7	-4.7	-6.9	-9.3	-7.5	-10.0
北東部	6.2	0.7	-2.0	-12.8	-6.7	-6.8
中西部	-7.0	-3.8	-8.5	-7.9	-10.5	-8.3
南部	-1.0	-2.9	-4.3	-6.5	-4.5	-8.8
西部	-6.2	-13.2	-14.2	-14.7	-10.8	-16.9

(前年比%)

23 : 20

《 要人発言 》

ポロシェンコ・ウクライナ大統領～安全保障会議で演説

- ・「ウクライナの状況は著しく変化した」
- ・「ロシアは正規軍をウクライナに送り込んだ」
- ・「ロシアとウクライナは、国境警備と拘束者交換について協議した」
- ・「ロシアとウクライナは、国境警備で 30 日に交渉を計画」

23 : 30

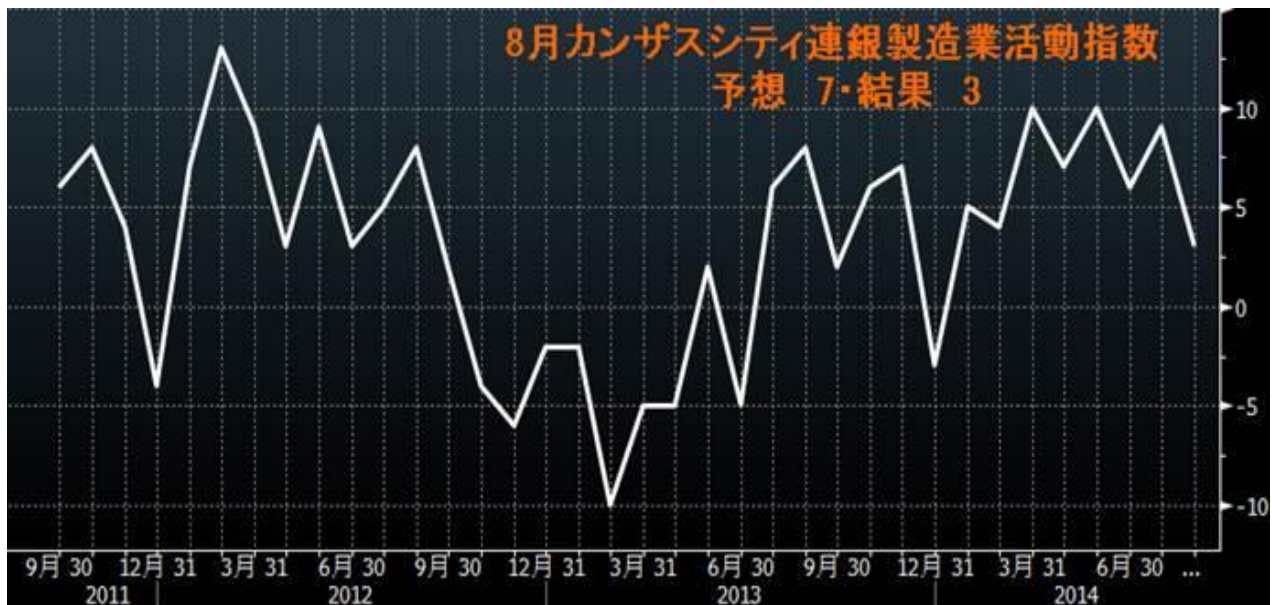
《 NY 株式市場 序盤》

序盤の株式市場は、ウクライナ情勢の緊迫化を背景に、欧州主要株価が軟調な動きとなったことを受けて、序盤から売りが先行する動きとなった。また、サイバー攻撃を受けたと報じられた金融大手が下落したことも圧迫材料となった。そして、米 4-6 月期の GDP 改定値が上方修正されたものの、反応は限定的となった。

0 : 00

《 経済指標の結果 》

8 月カンザスシティ連銀製造業活動指数 3 (予想 7・前回 9)



(出所:ブルームバーグ)

《 経済指標のポイント 》

(1) 米失業保険申請件数は、前週比-0.1万件的 29.8万件と、市場予想の 30万件を下回る結果となった。申請件数の 4週移動平均は、前週比-1250人の 29万 9750件となった。また、集計が 1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+2.5万人の 252.7万人となった。受給者総数の 4週移動平均は、前週比-3750人の 252万 4250人となった。そして、受給者比率は、前週から横ばいの 1.9%だった。

(2) 2014 年 4-6 月期の米 GDP 改定値は、年率換算で+4.2%と市場予想の+3.9%を上回り、速報値から 0.2ポイントの上方修正となった。伸び率としては、2013 年 7-9 月期以来の大幅な伸びとなった。企業の設備投資や輸出が上方修正されたことが要因となり、成長率全体が速報値よりも拡大した。

①GDP の約 7 割を占める個人消費は+2.5%と速報値から横ばいとなったが、1-3 月期の+1.2%から伸び幅が広がっている。また、自動車や家具などの耐久財もやや引き上げられた。

②設備投資は+8.4%に上方修正され、インフラ、機器、知的財産権関連に対する投資がいずれも引き上げられた。ただ、住宅投資は+7.2%に下方修正された。

③輸出は+10.1%に上方修正され、2010 年 10-12 月期以来の大きな増加率となった。一方、輸入は+11.0%に伸び率が縮小した。政府支出は州・地方政府、連邦政府の関連支出がともに引き下げられて+1.4%となった。

(3) NAR（全米不動産業者協会）が発表した 7 月の中古住宅販売成約指数は、前月比+3.3%の 105.9（2001 年=100、季節調整済み）となり、2013 年 8 月以来の高い水準となった。また、前年同月比は-2.1%となった。

①地域別では、北東部が+6.2%、南部が+4.2%、西部が+4.0%となったものの、中西部は-0.4%となった。

②NAR 関係者は「活発な契約活動の背景には住宅事情を取り巻く良好な環境がある」と指摘。「働き手の堅実な増加が家計を助け、住宅購入を促している」とした。

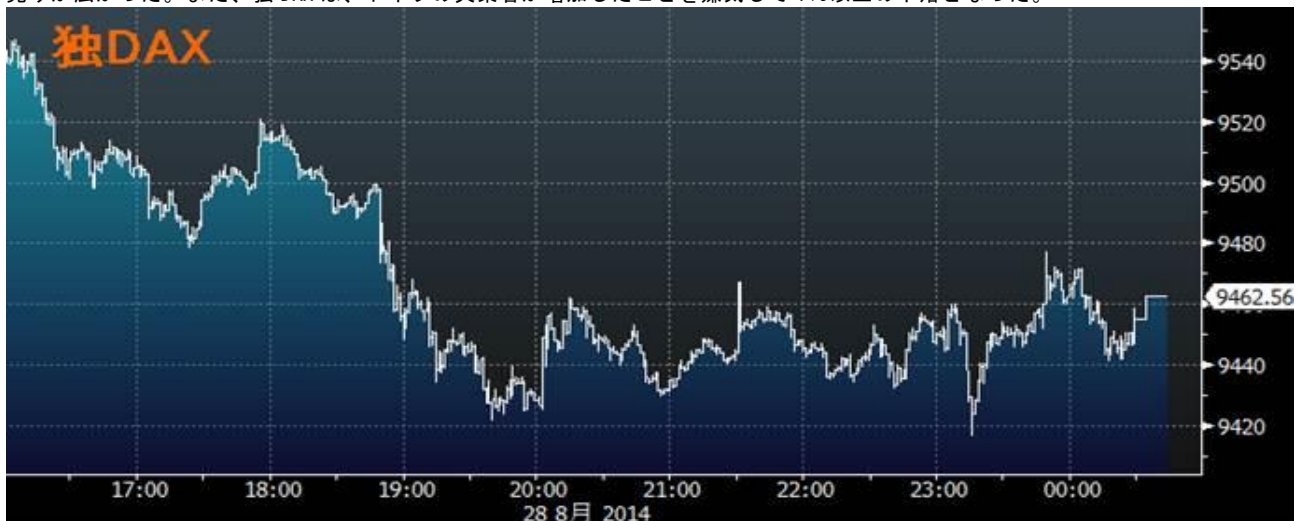
③仮契約は通常 1-2 カ月以内に本契約に移行するため、NAR の成約（仮契約）指数は、中古住宅市場の先行指数とされる。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6805.80	-24.86
仏 CAC40	4366.04	-29.22
独 DAX	9462.56	-107.15
ストック欧州 600 指数	341.05	-2.28
ユーロファースト 300 指数	1369.15	-9.04
スペイン IBEX35 指数	10722.20	-115.20
イタリア FTSE MIB 指数	20341.09	-422.05
南ア アフリカ全株指数	51133.13	-477.29

(出所:SBILM)

《 欧州株式市場 》

欧州株式市場は、ウクライナ情勢の緊迫を懸念した投資家がリスク回避姿勢を強めたことから、主要株価は軟調な動きとなった。売りが広がった。また、独 DAX は、ドイツの失業者が増加したことを嫌気して 1%以上の下落となった。



(出所:ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 17066.82 (-55.19)、S&P500 1995.76 (-4.36) ナスダック 4559.07 (-10.55)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、ウクライナ情勢の緊迫懸念で安全資産とされる米国債の需要が高まり、長期債を中心に買いが先行した。また、欧州市場でユーロ圏各国の国債利回りが引き続き低下したことも、相対的に利回りが高い米国債の買いを促した。ただ、4-6 月期の米 GDP が市場予想を上回ったことを受けて、上げ幅が縮小する場面もあった。

午前の利回りは、30 年債が 3.06% (前日 3.10%)、10 年債が 2.33% (2.36%)、7 年債が 2.03 (2.04%)、5 年債が 1.64% (1.64%)、3 年債が 0.95% (0.95%)、2 年債が 0.51% (0.51%)。

《 欧州のポイント 》

①トルコのエルドアン首相は、28 日の議会で宣誓を行い第 12 代大統領に就任した。また、大統領はダウトオール外相を首相代行に任命。大統領就任直後に公表された官報で明らかになった。新内閣の顔ぶれは 29 日に発表される見通し。

②スペイン統計局が発表した第 2・四半期の GDP (改定値) は、前期比 0.6% となり、速報値と一致した。第 1・四半期の伸び率も 0.6% だった。前年同期比の伸び率は 1.2% と、予想と一致し、第 1・四半期の 1.2% から変わらずとなった。

③CDS (クレジット・デフォルト・スワップ) 市場で、ウクライナの債務保証コストが 3 ヶ月ぶり高水準を更新した。ロシア軍がウクライナに侵入したと伝えられたため、情勢緊迫化の懸念が再燃した。一方、ロシアの債務保証コストも 2 週間ぶり高水準に上昇した。ウクライナの期間 5 年の CDS スプレッドは、前日比 34bp 拡大の 1016bp。ロシアの期間 5 年の CDS スプレッドは、13bp 拡大の 240bp となった。

④イタリアが実施した 10 年国債入札の利回りは、過去最低水準の 2.39% に低下した。ユーロ圏経済の低迷で ECB が追加措置に踏み切るとの見方が材料となっている。イタリアは 10 年・5 年・変動利付 5 年債を総額 80 億ユーロ発行した。

⑤8 月のユーロ圏景況感指数は 100.6 と、7 月の 102.1 から低下し、8 ヶ月ぶりの低水準となり、ウクライナ情勢の悪影響が明確に表れ始めた。業種別では小売り、消費者、鉱工業で景況感指数が低下となり、国別ではイタリアの指数が -4.1、ドイツは -1.9 となった。

⑥独連邦雇用庁が発表した 8 月の雇用統計で、失業者数は季節調整済みで前月比 +2000 人の 290 万 1000 人となった。失業率は 6.7% で前月と変わらずとなり、約 20 年で最低の水準を維持した。ユーロ圏経済の回復停滞とロシアとの間の緊張が、独経済の見通しに影を落としている。ドイツ経済は今年の初めごろほど良い状態にはない、また労働市場は依然として堅調だが、景気見通しがさらに悪化すれば、雇用にも年内に影響が出てくるとの指摘もある。

2 : 00

《 米財務省 7 年債入札 》

最高落札利回り・・・2.045% (前回 2.250%)

最低落札利回り・・・1.950% (前回 2.130%)

最高利回り落札比率・・・0.36% (前回 1.49%)

応札倍率・・・2.57 倍 (前回 2.58 倍)

3 : 30

NY 金は、中心限月が前日比 7.00 ドル高の 1 オンス = 1290.40 ドルで取引を終了した。

4 : 30

NY 原油は、中心限月が前日比 0.67 ドル高の 1 バレル = 94.55 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1290.40	+7.00
NY 原油	94.55	+0.67

(出所: SBILM)

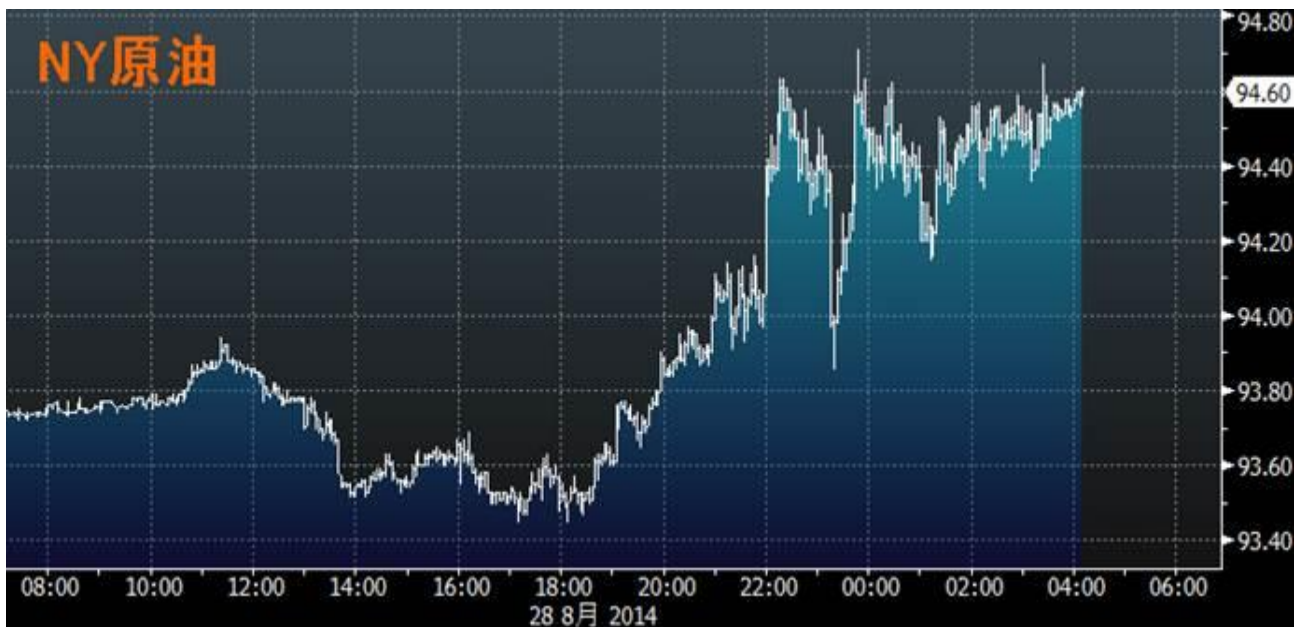
《 NY 金市場 》

NY 金は、ウクライナ情勢緊迫への懸念からリスク投資を避ける動きが強まり、比較的安全な資産とされる金を買う動きが先行した。ただ、その後は 4-6 月期米 GDP や 失業保険申請件数などの米経済指標が市場予想より良い内容だったことから、上げ幅は限定的となった。



《 NY 原油市場 》

NY 原油は、ウクライナ情勢をめぐって欧米がロシア制裁をさらに強めればロシア産原油の供給に支障が出るとの懸念を背景に、買いが先行した。ただ、前日発表の米石油在庫統計で、米オクラホマ州クッシングの原油在庫が増加したことから、供給過剰感も強く、上値は限定的となった。



主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17079.57	-42.44	17119.06	17018.33
S&P500 種	1996.74	-3.38	1998.55	1990.52
ナスダック	4557.70	-11.93	4565.96	4546.62

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、ウクライナ情勢の緊迫化を背景に、欧州主要株価が軟調な動きとなったことから、序盤から売りが先行した。また、サイバー攻撃を受けたと報じられた金融大手株が下落したことも圧迫材料となった。米 4-6 月期の GDP 改定値が上方修正されたものの、反応は限定的となった。その後は下げ幅を縮小したものの、4 営業日ぶりに反落となった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で 103 ドル安まで下落したものの、その後は下げ幅を縮小する動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	103.72	103.89	103.66
EUR/JPY	136.71	136.87	136.51
GBP/JPY	172.05	172.27	171.92
AUD/JPY	97.04	97.20	96.95
NZD/JPY	86.96	87.06	86.84
EUR/USD	1.3182	1.3187	1.3159
AUD/USD	0.9356	0.9364	0.9345

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された 2Q 米 GDP 改定値が市場予想を上回る伸びとなったことを受けて、ドルが主要通貨に対して上昇したものの、上昇は一時的となった。その後は、材料に乏しく、軟調な株価動向を背景に、ドル円・クロス円は上値の重い動きが終盤まで続いた。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。